

JIS

羊毛長尺フェルト

JIS L 3201 : 2002

(2007 確認)

平成 14 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

日本工業標準調査会標準部会 消費生活技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	小川 昭二郎	お茶の水女子大学
(委員)	秋庭 悦子	社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
	井村 五郎	千葉工業大学
	入江 稔員	社団法人日本ガス石油機器工業会
	長見 萬里野	財団法人日本消費者協会
	口ノ町 康夫	独立行政法人産業技術総合研究所
	小熊 誠次	社団法人日本オフィス家具協会
	佐野 真理子	主婦連合会
	所村 利男	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	高野 信一	社団法人日本電機工業会
	堤 暢廣	社団法人繊維評価技術協議会
	土橋 明美	文化女子大学
	長久保 徹	財団法人製品安全協会
	鍋嶋 詢三	社団法人消費者関連専門家会議
	橋本 享	株式会社西友
	菱木 純子	全国地域婦人団体連絡協議会
	肥塚 忠雄	社団法人日本住宅設備システム協会
	万代 善久	財団法人共用品推進機構
	村田 政光	財団法人日本文化用品安全試験所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 33. 10. 7 改正：平成 14. 3. 20

官 報 公 示：

原案作成協力者：社団法人 日本フェルト協会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会（部会長 杉浦 賢）

審議専門委員会：消費生活技術専門委員会（委員長 小川 昭二郎）

この規格についての意見又は質問は、経済産業省 産業技術環境局標準課 環境生活標準化推進室 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3-1 TEL 03-3501-1511(代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによってJIS L 3201 : 1997は改正され、この規格に置き換えられる。

白 紙

羊毛長尺フェルト

Wool press felts

序文 この規格は、対応するISO規格はないが、我が国における長尺羊毛フェルトの品質規格として、1958年(昭和33年)に制定された。

今回の改正では、引用規格の改正に伴う引用規格の番号及び名称を変更し、さらにJIS Z 8301(規格票の様式)に基づき様式を変更している。

1. 適用範囲 この規格は、一般工業用圧縮羊毛長尺フェルト⁽¹⁾(以下、フェルトという。)について規定する。

注⁽¹⁾ ここにいうフェルトは、製織過程を経たものは含まない。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版(追補を含む。)を適用する。

JIS K 8161 ジクロロメタン(試薬)

JIS L 0105 繊維製品の物理試験方法通則

JIS L 1030-1 繊維製品の混用率試験方法—第1部：繊維鑑別

JIS L 1030-2 繊維製品の混用率試験方法—第2部：繊維混用率

JIS R 3503 化学分析用ガラス器具

JIS Z 8401 数値の丸め方

JIS Z 8802 pH測定方法

3. 種類 フェルトの種類は、次のとおりとする。

- a) R36W
- b) R33W
- c) R28W
- d) R25W1
- e) R25W2
- f) R19W
- g) R25M
- h) R23M
- i) R19M
- j) R17M

4. 品質 フェルトの品質は、6.2~6.10によって試験したとき、表1~10のとおりとする。

5. 材料 材料は、羊毛を主材とし、他繊維を混入することができる。